



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月12日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東
 コード番号 7812 URL http://www.crestec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-435-3553
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績（平成27年7月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	11,632	7.0	175	△68.3	72	△88.7	△41	—
27年6月期第3四半期	10,868	—	551	—	638	—	373	—

(注) 包括利益 28年6月期第3四半期 △481百万円 (—%) 27年6月期第3四半期 973百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	△12.77	—
27年6月期第3四半期	129.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第3四半期	11,486	3,629	26.8	983.62
27年6月期	11,969	4,098	29.2	1,166.34

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 3,077百万円 27年6月期 3,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	—	—	30.00	30.00
28年6月期	—	10.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年6月期の連結業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,724	6.7	512	△21.2	352	△51.7	213	△46.4	66.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年6月期3Q	3,248,900株	27年6月期	2,998,900株
② 期末自己株式数	28年6月期3Q	120,030株	27年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年6月期3Q	3,221,502株	27年6月期3Q	2,878,900株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済におきましては、政府による経済対策や日銀のマイナス金利導入などの施策もありましたが、円高株安が進行し、また、中国を中心としたアジア新興国経済の成長鈍化による景気の下振れなどにより先行き不透明な状況が続いております。

世界経済におきましては、米国経済が引き続き堅調に推移し、欧州も回復傾向にありましたが、中国経済は過剰投資が重しとなり景気減速が続き、東南アジア経済についても成長が鈍化し、原油などの資源価格の下落などにより、世界の株式市場にも動揺が広がりました。

このような経済状況のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,632,680千円（前年同期比7.0%増）、営業利益は175,044千円（前年同期比68.3%減）、経常利益は72,393千円（前年同期比88.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は41,129千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益373,583千円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

輸送機器関連分野においては堅調な業績とともに、新製品の開発やモデルチェンジも活発化しております。デジタル機器分野においては、オフィス向けは業績も堅調で製品開発も堅調に行われていますが、コンシューマー向けは一部に回復の兆しもあるものの、全般的には低調でした。医療機器・ヘルスケア分野は堅調に推移しております。しかしながら、当第3四半期で更に株安が進み、退職給付に係る年金資産の減少により退職給付費用が売上原価と販売費及び一般管理費を合わせて、当第3四半期連結累計期間で106,758千円（前年同期比1,516.9%増）となり、さらに前第3四半期連結会計期間末日と比べ、円高が進んだため、為替差損が74,307千円（前年同期は為替差益109,987千円）発生しております。

このような状況のもとで、日本では、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は3,384,279千円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は131,752千円（前年同期比49.8%減）となりました。

② 中国地域

デジタル機器分野では、オフィス向けは安定していますが、中国での製造業全般的に生産量そのものが減少傾向にあります。一方で医薬品、医療機器、ヘルスケア分野は伸びています。また、新たな取引として日用品分野の取引も始まっています。ただ、医薬品分野では、今期より華東地区にて本格的に数字が伸び順調ですが、日用品分野では、華南地区にて第4四半期で新たな取引が開始する予定ですが、本格的な取引にはまだ時間を要する状況となっております。

このような状況のもとで、中国では、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は2,775,942千円（前年同期比2.7%減）、セグメント損失は3,899千円（前年同期はセグメント利益67,031千円）となりました。

③ 東南アジア地域

フィリピンやベトナムでは中国からの生産移管などにより、輸出型製造業の新規投資や生産量が増えていますが、一方でインドネシアでは人件費の急騰や組合活動の活発化、タイでは政情不安定などにより、輸出型製造業の生産や新規投資が停滞しています。また、フィリピンでは順調に売り上げは伸びていますが、大量の梱包材を取り扱うための倉庫の使用許可を得るのに予想以上に時間を要したことによる一時的な損失発生は終息しましたが、新規に売上を伸ばしている顧客の配送手配や輸送に関わる費用が、想定以上に増加し収益性が悪化しております。

このような状況のもとで、東南アジアでは、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は4,368,950千円（前年同期比18.6%増）、セグメント利益は52,965千円（前年同期比75.0%減）となりました。

④ 欧米地域

米国ではメインである輸送機器分野は堅調で、平成27年12月末をもって、最大の重荷であった旧事務所のリース契約も終了し、当第3四半期は、一部まだ移転に伴う一時的な費用が発生しましたが、収益化に向け改革が進んでいます。ヨーロッパではメインである輸送機器分野やゲーム機器分野が引き続き堅調です。

このような状況のもとで、欧米では、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,103,508千円（前年同期比5.8%減）、セグメント損失は14,990千円（前年同期はセグメント利益18,852千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,565,544千円となり、前連結会計年度末に比べ226,937千円減少いたしました。これは主に仕掛品が259,419千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,921,226千円となり、前連結会計年度末に比べ255,491千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が202,162千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、11,486,770千円となり、前連結会計年度末に比べ482,428千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,184,006千円となり、前連結会計年度末に比べ116,494千円増加いたしました。これは主に短期借入金が512,383千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,673,210千円となり、前連結会計年度末に比べ129,849千円減少いたしました。これは主に長期借入金が120,339千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,857,216千円となり、前連結会計年度末に比べ13,354千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,629,553千円となり、前連結会計年度末に比べ469,074千円減少いたしました。これは主に資本金及び資本剰余金がそれぞれ110,400千円増加いたしました。剰余金の配当等により利益剰余金が163,585千円、為替換算調整勘定が395,294千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年2月10日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日、平成28年5月12日に公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,462,856	3,407,864
受取手形及び売掛金	2,671,231	2,723,447
商品及び製品	963,797	925,332
仕掛品	743,901	484,481
原材料及び貯蔵品	298,310	256,905
繰延税金資産	174,477	130,737
その他	483,087	642,523
貸倒引当金	△5,181	△5,748
流動資産合計	8,792,481	8,565,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	584,474	550,374
機械装置及び運搬具（純額）	1,232,853	1,079,769
工具、器具及び備品（純額）	201,991	193,864
土地	220,641	213,788
有形固定資産合計	2,239,960	2,037,798
無形固定資産		
投資その他の資産	199,132	162,154
投資有価証券	96,485	90,462
退職給付に係る資産	97,413	42,105
繰延税金資産	205,687	243,606
その他	343,482	350,543
貸倒引当金	△5,445	△5,445
投資その他の資産合計	737,624	721,273
固定資産合計	3,176,717	2,921,226
資産合計	11,969,198	11,486,770

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,206,555	1,038,778
短期借入金	1,830,492	2,342,875
1年内返済予定の長期借入金	1,144,214	1,044,153
リース債務	119,638	85,500
未払法人税等	58,124	52,182
賞与引当金	89,092	139,237
未払金	566,587	442,891
その他	52,805	38,387
流動負債合計	5,067,511	5,184,006
固定負債		
長期借入金	2,448,533	2,328,194
リース債務	126,100	105,012
役員退職慰労引当金	38,627	44,465
退職給付に係る負債	189,010	194,992
その他	787	546
固定負債合計	2,803,059	2,673,210
負債合計	7,870,570	7,857,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	105,000	215,400
資本剰余金	30,000	140,400
利益剰余金	3,030,570	2,866,984
自己株式	—	△85,553
株主資本合計	3,165,570	3,137,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,362	459
為替換算調整勘定	370,820	△24,473
退職給付に係る調整累計額	△42,013	△35,600
その他の包括利益累計額合計	332,169	△59,614
非支配株主持分	600,887	551,936
純資産合計	4,098,627	3,629,553
負債純資産合計	11,969,198	11,486,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	10,868,359	11,632,680
売上原価	8,063,960	9,004,421
売上総利益	2,804,398	2,628,259
販売費及び一般管理費		
役員報酬	34,020	36,270
給料	865,082	915,679
法定福利費	149,621	158,444
賞与引当金繰入額	56,924	66,157
役員退職慰労引当金繰入額	5,810	5,837
退職給付費用	29,680	66,149
貸倒引当金繰入額	1,965	1,103
減価償却費	64,950	73,046
賃借料	236,590	229,932
研究開発費	22,357	41,480
その他	786,011	859,114
販売費及び一般管理費合計	2,253,013	2,453,215
営業利益	551,384	175,044
営業外収益		
受取利息	12,563	7,665
受取配当金	129	167
作業くず売却益	39,121	24,010
助成金収入	—	11,585
為替差益	124,275	—
その他	16,712	21,610
営業外収益合計	192,802	65,039
営業外費用		
支払利息	85,595	82,974
為替差損	—	74,490
その他	20,068	10,223
営業外費用合計	105,664	167,689
経常利益	638,522	72,393
特別利益		
固定資産売却益	1,939	5,480
特別利益合計	1,939	5,480
特別損失		
固定資産売却損	3,622	2,041
固定資産除却損	5,470	15
特別損失合計	9,093	2,056
税金等調整前四半期純利益	631,368	75,817
法人税、住民税及び事業税	146,546	100,720
法人税等調整額	108,191	△7,537
法人税等合計	254,737	93,182
四半期純利益又は四半期純損失(△)	376,631	△17,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,047	23,763
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	373,583	△41,129

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	376,631	△17,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,816	△2,903
為替換算調整勘定	594,374	△468,009
退職給付に係る調整額	△2,320	6,413
その他の包括利益合計	596,870	△464,499
四半期包括利益	973,501	△481,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	878,543	△432,913
非支配株主に係る四半期包括利益	94,957	△48,951

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年7月8日に東京証券取引所JASDAQスタンダードに上場いたしました。当社は上場にあたり、平成27年7月7日に公募増資による払込みを受け、資本金及び資本剰余金（資本準備金）がそれぞれ84,345千円増加しております。

また、平成27年8月4日にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による払込みを受け、資本金及び資本剰余金（資本準備金）がそれぞれ26,054千円増加しております。

さらに当社は、平成28年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が85,553千円増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が215,400千円、資本剰余金（資本準備金）が140,400千円、自己株式が85,553千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,161,007	2,852,965	3,682,627	1,171,758	10,868,359	—	10,868,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	356,876	101,020	30,895	219,919	708,712	△708,712	—
計	3,517,884	2,953,985	3,713,523	1,391,678	11,577,071	△708,712	10,868,359
セグメント利益	262,637	67,031	211,998	18,852	560,519	△9,134	551,384

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,384,279	2,775,942	4,368,950	1,103,508	11,632,680	—	11,632,680
セグメント間の内部 売上高又は振替高	405,993	104,102	26,941	172,553	709,590	△709,590	—
計	3,790,272	2,880,045	4,395,892	1,276,061	12,342,271	△709,590	11,632,680
セグメント利益 又は損失(△)	131,752	△3,899	52,965	△14,990	165,827	9,216	175,044

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。